

# Chapter 03

## ブック機能を用いてドキュメントを管理する

### 3-1

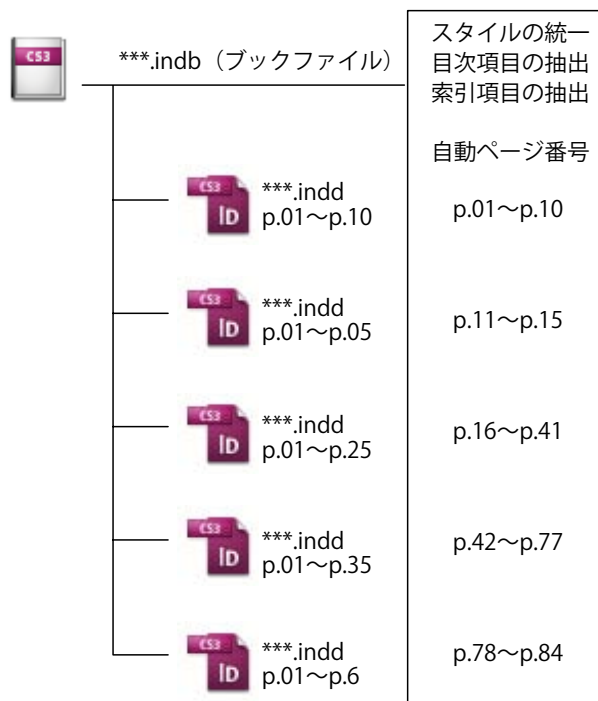
#### 複数のドキュメントをブック機能で管理する

**1** 冊の本などを制作する場合、章ごとに別々に作業を行い、それらをひとつの「ブック」としてまとめる方法をとります。

ブックファイルは、それぞれのドキュメントで使用されたスタイルや、スウォッチ、マスターページなどを共有することができ、簡単にそれらの統一を取ることができます。

また、ブック内に保存されたドキュメント内でページ番号を作成したり、目次や索引を設定することができます。

ブックファイルに登録された複数のドキュメントのうちの一つが「スタイルソース」となり、ほかのドキュメントはスタイルソースに従って統一をされます。仮に同じスタイル名で、スタイルソースと異なる設定の要素があった場合には、スタイルソースの設定で置き換えます。



## 3-2

## ブックの作成

- [ファイル／新規／ブック ...]、またはスタートアップスクリーンから [新規作成／ブック] を選びます。ブックファイルは\*\*\*.indb という拡張子がつきます。
- ブックファイルが作成されると、自動的にブックパネルが開きます。ブックパネルはほかのツールパネル類と同様、ドックへ格納することができます。

- ブックファイルにドキュメントを追加
- 登録されたドキュメントをブックから削除
- 登録されたドキュメント間でスタイルとスウォッチをスタイルソースと一致させる
- ブックファイルを保存する
- ブックファイルで選択されたドキュメントを印刷する



ドキュメントの追加(D)...  
ドキュメントの置換(L)...  
ドキュメントを削除(V)

ブックを保存(S)  
ブックを別名で保存(A)...  
ブックを開じる(O)

ブック をプリフライト(F)...  
ブック をプリント用にパッケージ(G)...  
ブックを Digital Editions に書き出し...  
ブックを PDF に書き出し(E)...  
ブックをプリント(P)...

ドキュメント情報(F)...

ブック を同期(Y)  
同期オプション(O)...  
自動番号を更新(U) ▶  
ブックのページ番号設定(B)...  
ドキュメントの自動番号設定(N)...

自動ドキュメント変換(T)  
書き出し時に同一名のレイヤーを結合する(R)

小さく表示(M)

## 3-3

## 目次／索引の作成

**ド**キュメント、あるいはブック全体の目次と索引を作成することができます。

## 目次パネル

目次はドキュメントに含まれるスタイルをもとにして抽出されます。例えば、各チャプターの見出しのタイトルに一律の段落スタイルが適用されている場合、それを目次項目として書き出すことができます。

- ここで設定する目次の名前を決めます
  - 抽出した目次の冒頭につける目次のタイトル、ならびにそのスタイルを設定します
  - 目次項目として抽出したい段落スタイルを選択します。右のペインにはドキュメント内にある段落スタイルの一覧が表示されますので、目次として抽出したい段落スタイルを選択し [追加] を押し、左のペインに追加されます。
  - 選択した目次項目にどのようなスタイルを適用するかを指定します。このスタイルは目次項目を書き出した後で設定してもかまいません。
- [詳細設定] を押し、目次項目の階層構造などを設定する詳細設定画面に切り替わります。
- 目次項目とあわせてページ番号を抽出する指定をします。
  - 目次項目の階層構造（大項目の下に小項目を表示するなど）を設定します。

## 目次の作成

---

1. 目次パネルで目次項目に必要な要素を指定する
  2. 必要項目の設定が終了したら、[OK] をクリックします。
  3. 目次テキスト流し込みアイコンが表示されますので、目次を作成したいページに移動して、クリック、またはドラッグして抽出した目次を配置します。
- (注意)
- ・ 目次を流し込んだテキストフレームは、ドキュメントのほかのテキストフレームと連結はしないこと。
  - ・ ドキュメントの内容を変更したり、ページ数が増えたり減ったりした場合は、目次のテキストフレームをアクティブにし、[レイアウト／目次の更新] を選択します。

## 索引の作成

---

索引はドキュメントやブックの中の文字列を索引項目として抽出し、索引ページを作成する機能です。索引の作成は「索引パネル」から行います。

索引項目がどのページに登場するか、また参照ページでなくほかの索引項目を参照させる「相互参照」項目も抽出することができます。

1. [ウィンドウ／書式と表／索引] を選択し、索引パネルを表示します。
2. 索引項目として追加したい文字列を選択し、メニューから [新規ページ参照] を選択するか、索引パネル下部の [新規索引項目を作成] ボタンをクリックします。
3. [新規ページ参照] ダイアログが表示されます。ここに索引項目の読みを入力します。[種類] は「現在のページ」が選ばれているようにしてください。
4. 索引項目が追加されます。入力した読みにしたがって、分類されて、現在のページ番号が反映されていることがわかります。
5. この手順を繰り返し、必要となる索引項目を作成していきます。索引項目が設定された箇所には「索引マーカ」が表示されます。
6. 索引項目は入力した読みに従って並べ替え (ソート) されます。このソートの基準を設定するのが索引パネルのメニューから選択できる「ソートオプション」です。
7. ソートオプションダイアログの中で表示されているリストは、上から順番に並べ替えられます。

## 相互参照の追加

---

索引項目で参照させる対象をページではなく、ほかの語句を対象とする「相互参照」を設定します。ここでは、すでに登録されている索引項目を相互参照させてみます。

1. なにもオブジェクトが選択されていない状態で、索引パネルメニューから[新規相互参照]を選択します。
2. 新規相互参照ダイアログに参照する索引を設定します。ダイアログには、すでに登録されている索引項目が表示されており、ダブルクリックをすることで簡単に入力できます。
3. 参照の元となる索引項目をダブルクリックし、索引項目に入力します。
4. 相互参照させたい索引項目を設定します。[種類]に「ここも参照」を選び、[参照される項目]欄に、対象の索引項目をドラッグします。

## 索引の作成

索引パネルで設定した索引、ならびに相互参照などは、索引用のドキュメント、あるいは連結されていないテキストフレームに配置して作成します。

- A. 抽出した索引のタイトル／タイトルに適用するスタイル
- B. すでに索引が作成されている場合、このチェックで新しいものと置き換わります。
- C. レベルスタイル／索引スタイルは、段落スタイルの適用ができます。索引用の段落スタイルを作っている場合、ここで適用できます。

The screenshot shows the '索引の作成' (Index Creation) dialog box. It has the following fields and options:

- タイトル(T):** 索引
- タイトルのスタイル(S):** 索引タイトル
- 索引を置換(O)
- ブックのドキュメントを含む(O)
- 隠れたレイヤーのエントリを含む(O)
- ブロックの名前: フレームの方向: 横組み
- 入れ子: [dropdown]
- 索引セクション見出しを含む(O)
- 空の索引セクションを含む(O)
- レベルスタイル**
  - レベル 1(O): 索引|レベル 1
  - レベル 2(O): 索引|レベル 2
  - レベル 3(O): 索引|レベル 3
  - レベル 4(O): 索引|レベル 4
- 索引スタイル**
  - セクションの見出し(O): 索引セクションの見出し
  - ページ番号(O): [なし]
  - 相互参照(O): 索引|相互参照
  - 相互参照見出し(O): [なし]
- 項目分類**
  - 見出しに続く(O): [ ]
  - 項目間(O): [ ]
  - ページ範囲(O): [=]
  - ページ番号間(O): [ ]
  - 相互参照前(O): [ ]
  - 項目終了(O): [ ]